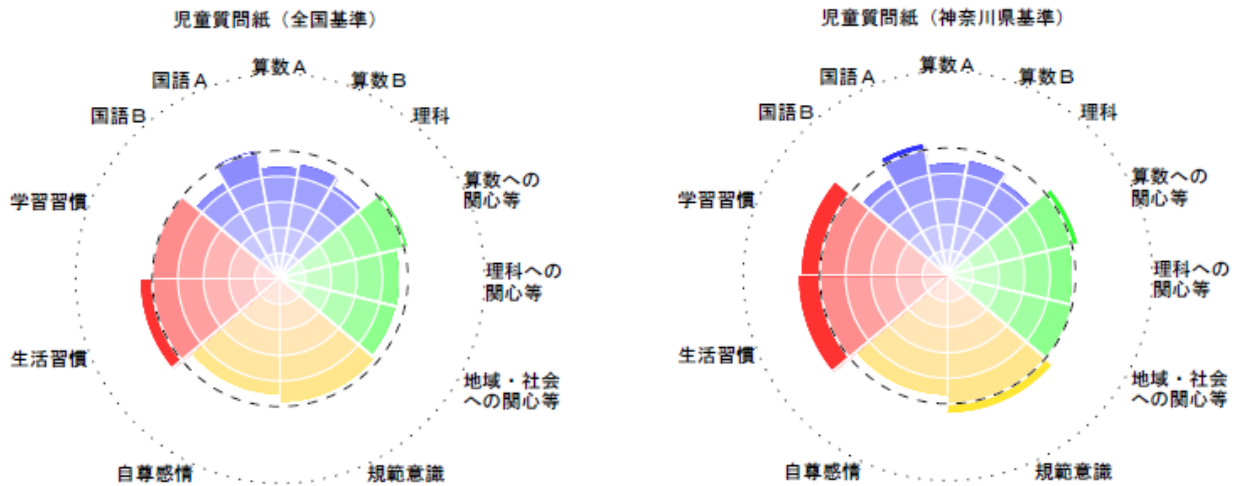


## 全国学力・学習状況調査結果について

平成 30 年 4 月に、6 年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果がまとまりましたのでお知らせ致します。

この調査結果をもとに、児童一人ひとりの力をつけることに取り組んでいきます。



※点線は、全国平均、または神奈川県平均を表しています。

### 【国語】(国語 A・国語 B)

国語では、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言語」に関する内容について学習します。

- ・国語 A は、学習した内容のうち、しっかりと身につけておいた方がよい基礎的・基本的なものをみる問題です。
- ・国語 B は、評価した理由を書いたり、文章や情報を比べたり関連づけたりして読み取ったり書き換えたりする問題です。

#### 《調査結果》

本校の平均正答率は、全国平均正答率、国語 A (70.7%) よりも、0.3 ポイント上回っていますが、国語 B (54.7%) は 6.7 ポイント下回っています。

#### ○課題として考えられること

- ・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く力が弱い。
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしなが読む力が弱い。
- ・計画的に話し合うために、司会の役割について捉える力が弱い。

### 【算数】(算数 A・算数 B)

算数では、「数と計算」、「量と測定」、「図形」、「数量関係」に関する内容について学習します。

- ・算数 A は、学習した内容のうち、しっかりと身に付けておいた方がよい基礎的・基本的なものをみる問題です。
- ・算数 B は、学習した内容を使って、身の回りの場면을観察したり、いろいろな場合を調べたり、式や図、グラフなどが表している内容を読み取ったり、筋道を立てて考えたりする問題です。

#### 《調査結果》

本校の平均正答率は、全国平均正答率、算数 A (63.5%)、算数 B (51.5%) より下回っています。

#### ○課題として考えられること

- ・単位量当たりの大きさを求めるための除法の式や、算出された商の意味についての理解が弱い。
- ・示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現する力が弱い。

## 【理科】

理科では、A区分「物質」、「エネルギー」、B区分「生命」、「地球」に関する内容について学習します。

### 《調査結果》

本校の平均正答率は、全国平均正答率（60.3%）より下回っています。

#### ○課題として考えられること

- ・人体の仕組みについての科学的な言語や概念についての理解が弱い。
- ・太陽の1日の位置の変化や、それに伴って光電池に生じる電流の変化の関係についての理解が弱い。

## 【基本的生活習慣に関わる内容】

- ・朝食の摂取率は全国平均（84.8%）をやや上回っている。
- ・就寝時刻が規則的である割合は、全国平均（41.4%）を上回っている。
- ・家で、学校の授業の予習・復習をしている割合は、全国平均（27.7%）をやや下回っている。
- ・普段から読書を30分以上している割合が、全国平均（41.1%）を上回っている。
- ・自己肯定感「自分にはよいところがある」に対し、「そう思う」の割合が全国平均より低い。
- ・地域行事への参加率が、全国平均（62.7%）を上回っている。また、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」に対し「ある」の割合がやや高い。

上記の主な結果から、学校や家庭、地域で児童のがんばりを認めていくことで、児童の自己肯定感や自己有用感を育んでいくことが必要です。

また、生活習慣の質が学習への取り組みや学力に結びつくと考えられます。朝食の摂取率や就寝時刻の項目においては全国平均を上回っていることから、生活習慣への意識が高いことが分かりました。これはひとえに、ご家庭で日頃より温かく見守っていただいた成果だと思えます。この生活習慣への意識の高さを、学校での学習や生活に生かしていきたいと思えます。

## 【学校で取り組んでいくこと】

- ・国語科だけでなく全教科を通して書くことを中心とした表現力の育成を図ったり、互いの考えを伝え合う活動を取り入れたりする。また、計画的な司会進行の仕方を確認しながら、各教科において話し合い活動を積極的に取り入れる。
- ・算数では児童のもつそれぞれの課題を的確に把握し、机間指導等で個々に応じた支援ができるようにする。また、日常に生きる数学的活動を積極的に取り入れ、児童が算数を身近に感じることができるようになる。
- ・理科では、既習学習を振り返りながら授業を進め、系統ごとの知識や技能を結び付けることで、学習内容を確実に定着できるようにする。また、普段の授業や実験の際にも科学的な言語を積極的に用いていくことで、言語や概念の理解の定着を図る。
- ・学習内容を適用した問題を繰り返し取り組んでいくために、ドリルやプリントを有効に活用していく。

## 【ご家庭で取り組んでいただきたいこと】

- ・引き続き、朝食や就寝時間などの生活習慣を整えること。
- ・落ち着いて家庭学習に取り組める時間を設けること。6年生は目安としては60分です。

ご協力よろしくお願いいたします。